

### VRにより点検技術を取得－構造物点検VR研修システム－

橋梁定期点検時に必要な基礎技術の習得を目的に、VR（仮想現実）により橋梁の定期点検を疑似体験し、クイズ形式で点検のポイントを学習できる、特に若手技術者をターゲットとした研修ツールを開発しました。

VRを用いることで、実際に現場に行かなくても、鋼橋、コンクリート橋といった様々な橋梁形式における色々なパターンの損傷（問題箇所）を、若手技術者が自ら発見・回答することで、橋梁点検に必要な技術や知識を、楽しみながら学習することができます。



システムを用いた研修状況

担当部署 東京本社 インフラマネジメントセンター 担当者 神島 涼佑

Tel 03-3668-4393

Fax 03-3668-4446

### VR（仮想現実）研修システムの特徴

#### 01 現場状況確認

対象橋梁の任意の位置に移動



#### 02 橋梁基本情報の確認

対象橋梁の各種諸元情報等を確認



#### 03 損傷の発見

ズーム機能等を駆使して損傷を発見



#### 04 クイズ形式による学習

体験者の理解度をクイズ形式で可視化



### 迅速な災害対応を実現－災害対応支援システム－

近年、災害が頻発化・激化する状況下において、自治体、企業は災害時にBCPやタイムライン等を円滑に運用し、確実に事業を継続することが求められています。弊社が開発した「災害対応支援システム」は、風水害や地震等の災害発生時に、リアルタイムで自動収集した防災情報等をマップ上で共有し、あらかじめ定めた防災行動の実施判断を支援することで、迅速かつ的確な災害対応の実現に貢献します。

また、災害時に使用する機能だけでなく、平常時に使用できる機能（訓練モード、点検結果集約機能等）が揃っており、お客様のニーズや予算に応じた柔軟なシステム構築（機能選択、機能拡充）が可能です。



システムを活用した防災訓練（奈良県王寺町）

担当部署 大阪本社 防災室 担当者 野中 寛之

Tel 06-6206-5183

Fax 06-6206-6048

#### 災害対応支援システムの主な機能

防災情報集約機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行動の判断に必要な情報（予警報等の気象情報、河川水位等）を自動的に収集。</li> <li>情報収集に係る職員の負担を軽減。</li> </ul>
タイムライン機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災計画やマニュアルで定めた行動を迅速かつ的確に実施できるように関連情報を一元化。</li> <li>集約したトリガー情報に対応した行動を自動的に提示することで、災害対応の遅れ、漏れを防止。</li> </ul>
被災情報投稿機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員、作業員等が現場から直接、被災状況等をスマホで写真・動画として投稿。</li> <li>事務所に戻ることなく状況報告ができるため、職員の報告資料等作成に係る負担を軽減。</li> </ul>
情報管理マップ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>投稿や収集した情報、ハザードマップ、CCTV情報等をマップ上でリアルタイムに共有。</li> <li>状況把握にタイムラグがないため、迅速な作業指示が可能。</li> </ul>

